

歓迎の言葉

加賀市長
大幸 甚

第9回日本学生オリエンテーリング選手権大会が、自然文化の香りと歴史豊かな加賀市を会場に、全国各地から多くの学生の皆様をお迎えし、盛大に開催されるにあたり、心から歓迎とお祝いを申し上げます。

今回の会場となります塩屋町から片野町までの海岸一帯は、昭和43年5月1日に越前加賀国定公園に指定されています。日本海に面した海岸は白砂青松と奇岩が連なる風光明媚な景勝地であり、江戸時代から長い年月をかけて砂防植林のために、大聖寺藩が時の北前船主等の支援を受けながら、黒松苗およそ2,000万本を植栽したといわれ、大切に守り育ててきた場所でもあります。松林の中にある自然休養林には、サイクリングロードや遊歩道が整備され、21世紀の初めてのオリエンテーリングの会場地として、ふさわしいコースでないかと思っております。

北欧を中心として発達してきたオリエンテーリングは、スポーツのバックボーンである「健康・体力づくり」という理念のもと、豊かな自然を舞台に自らの身体を鍛えるというものであります。近年、人々の健康や体力に対する関心が高まりを見せるなか、時代に相応したスポーツの一つであると言えます。母校の名誉と期待を担い参加される皆様には、日頃のトレーニングの成果を十分に発揮されるとともに、この大会を通じてお互いの親睦の輪を深められ、実り多い大会になることをご期待申し上げます。なお、文化と歴史の豊かなこの地には、古丸谷、北前船、一向一揆等多くの歴史的な遺産があります。是非ともこの機会にふれていただき、良き思い出となれば幸いに存じます。

おわりに、本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係各位に感謝申し上げますとともに、大会の成功とオリエンテーリングの益々の発展をお祈り申し上げ、歓迎の言葉とさせていただきます。

ご挨拶

日本学生オリエンテーリング連盟会長
河合 利幸

21世紀幕開けの喧噪が落ち着いたのも束の間、このところ暗い事件が国内外で立て続けに起こり、経済・産業界は言うに及ばず、我々の日常生活にまでも影を落としつつあります。21世紀は新たな戦争が始まった世紀として後世の人々の記憶に残っていくのでしょうか。

そんな漠然とした不安を抱える中、海外から日本人スポーツ選手の記録更新という明るいニュースが届きました。マラソン女子の高橋選手と米国大リーグのイチロー選手です。淡々と、あるいはけろりとして語る彼らですが、そんな彼らの活躍に勇気づけられた人も少なくないのではないのでしょうか。スポーツの持つ力の一端を見せられたような気がします。

さて、今回のインカレショートは、クラシックを含めてインカレ史上初めて北陸の地で行われます。運営を担当するOB・OGが少ない地方での開催は困難なものですが、なんと今回は東日本大会とのダブル大会、近頃伸長著しい北信越関係者のパワーを感じます。テレインは、ワールドゲームズ秋田と同様なフラットな海浜テレイン、通行可能度も良好と聞いては、身中の虫が騒ぎます。ショート競技が本来もつ特質であるスピーディかつテクニカルな勝負がより一層加速され楽しめることでしょう。

一方、観客・アフター派としては、東尋坊をはじめとする景勝地、多数の著名な温泉、そして越前ガニの季節ときてはよだれを垂らさずにはおられません。東日本大会ともども多数の参加者・観戦者を得て大会が成功裏に終わることを祈念いたします。

競技に参加する現役学生諸君には、納得のいくレースを、そして楽しむことを期待します。高橋選手をはじめとするトップアスリートたちに共通しているのは、やはり競技を楽しんでいることです。新入生諸君にとっては、初の大きなイベント、しかもインカレのもつ独特の雰囲気の中、緊張するなというのは無理かもしれません。それでも、敢えて言います。気軽に楽しんでください。結果は後からついてきます。

最後になりましたが、厳しい社会情勢の中、仕事や育児、勉学の忙しい合間を縫って準備を進めていただいた実行委員会とその関係者の皆さん、本当にご苦労様でした。そして地元関係者の皆さんには、様々な面でご協力いただき本当に有り難うございました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼申し上げます。

ご挨拶

日本学生オリエンテーリング連盟幹事長
芳賀 俊哉

ご挨拶

2001 年度インカレショート実行委員長
木村 佳司

学生オリエンティアの頂点を決める一大イベント、「インカレ」の季節が今年もとうとうやってきました。きっと皆さんも、この日をまだかまだかと待ち望んでいたことと思います。

3 種目あるインカレ競技の先陣を切る、このショートディスタンス大会。スピードとテクニック、そして研ぎ澄まされた集中力 それらを最大限に発揮できた者のみが生き残る、いわば瞬間の格闘技です。この戦いを制した者こそが、今年度最初の学生チャンピオンとして、表彰台のてっぺんに立つことができるのです。

今年度のショート選手権は、すぐ近くに冬の日本海が広がる、北陸・加賀の地で行うこととなりました。起伏の緩やかな海岸地形での競技というささか特殊な条件で、選手の方々に厳しいレースとなることが必至です。もちろん、今日まで十二分に対策を練り上げてきた皆さんならば、恐れる必要はありません。練習の積み重ねによって生まれた大きな自信が、その一步一步を踏み出させてくれることでしょう。そして、刻まれていく無数の足跡が、熱く激しくそして楽しい、最高の大会に昇華させるのだということを、私は確信しています。

「インカレ」 日本学生オリエンテーリング選手権は、その名の通り私達学生の大会です。つまりそれは、私達学生こそが、紛れもなくこの大会を作り上げているのだということをも意味するのではないのでしょうか。即ち、私達の力いかによっては、この行事を何倍も何十倍も素晴らしいものにできる、大きな可能性を秘めていると言えると思います。私達には参加者として、自分達の手で大会を盛り上げ、感動を与えそして受け取る、権利と義務があります。昨今ではオリエンテーリング人口の減少が囁かれる厳しい現状の中ではありますが、私達はそれに負けないパワーを、オリエンテーリング界、そしてスポーツ界に証明していきましょう。

今回も大会実行委員会の方々には、多忙をぬって大会の準備運営をして頂いております。そして地元関係者の皆様には、このような大会を開催する機会と、多大なご協力を頂いております。私たち学生がこうして互いの技を競えるのも、こうした方々のご尽力のおかげだということを、決して忘れてはいけません。私達は精一杯の走り、誠意のある行動でもってお応えしましょう。最後になりましたが、関係者の皆様には、日本学生オリエンテーリング連盟加盟員一同を代表し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

全国の学生オリエンティアの皆さん、オリエンテーリング愛好家の皆さん、インカレショート加賀大会へようこそ。

21 世紀最初の日本学生チャンピオンを決める大会。それがこのインカレショート加賀大会です。この大会を目指して、皆さんは準備をしてきました。その過程において、それぞれが充実した時間を過ごしてきたと思います。

さあ、これが仕上げです。これまでの準備の成果を全て、全国の学生オリエンティアの前で見せてください。その先には全力で競った者だけが到達できる素晴らしい世界が開けることでしょう。

さて、このインカレショート大会を加賀で開催することは、私の 10 年来の構想でした。

10 年以上前に同じ加賀市の山間部で金沢大学オリエンテーリング大会が開催されたことがあります。私はこの大会に参加するために前日から加賀青年の家というところに泊まることになりました。この時に偶然近くにあったのが、加賀海岸の砂防林でした。夕方に軽く周囲をジョギングをした時に、この加賀海岸が実はオリエンテーリング競技に大変適していることを見つけました。

一般的に、北陸地区は豪雪の影響で、森の中の通行可能性が悪く、オリエンテーリングにはあまり適さないと言われてきましたが、この加賀海岸を見て、その考えは大きく変わりました。

なぜ、ここが今までオリエンテーリングに使用されていなかったのか、とても不思議に思っているのと聞いてみました。土地利用の問題、自然保護の問題、調査能力の問題など、当時さまざまな障害があってオリエンテーリングへの使用が見送られてきたということでした。

「ここでオリエンテーリングのナビゲーションを試してみたい。」

その思いだけで、私達は加賀インカレショートを実現するべく実行してきました。

まずは土地利用の問題から始まって、課題を一つづつクリアするところから始まりました。しかし、この壮大な計画は、当然ひとりの力で出来るものではありません。国有林を管理する地方事務所と、その窓口にあたってくださった石川県オリエンテーリング協会、そして、この難しい Terrain を図化する強力なプロフェッショナルたち、さらにはこの加賀に結集してインカレショートの為に動いてくれるボランティア。こうした方々に支えられてこの大会はここまで準備できてきました。

私達、実行委員会は、今、用意できる最高の舞台を用意しました。あとは皆さんの素晴らしいパフォーマンスを期待しています。この加賀の森を多に楽しんでください。私達実行委員会も楽しみにしています。

そして、何よりもこのような森や施設を守り、本大会の為に利用させていただくことを認めてくださった、数多くの地元関係者の皆様には、感謝いたします。皆様のおかげで、私達はオリエンテーリング競技を行い、こうして選手権まで開催できるのです。ありがとうございました。

参加される皆様もこうした方々への心遣いを決して忘れることなく、感謝の意を持って競技に望んでください。